

※発言をそのまま書き起こしたデータを基に、個人情報に関する部分を削除し、文意が通るように修正を行っています。

グループワーク 3 B班

(F) ファシリテーターは私なので、引き続きお願いいたします。

次回取り扱いたいテーマについて、意見を書き出します。2分程度を区切って、ファシリテーターも含めて各自が次回のテーマ案を付箋に書き、手元にストックしておいてください。1枚につき、1つのテーマ案です。案の質にはこだわらずということなので、思いついたものをババッと書いていただいて、議論をしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。2分です。

(サブ F) お願いいたします。

(記入中)

(サブ F) いくつもテーマ案があったら、1つずつ付箋に書いてください。

1分経過です。あと1分です。

(記入中)

(サブ F) 案の質にはこだわりませんので、思いついたものをたくさん書いてください。

「案は質問の形にしてください」というのは、「どうなのでしょうかね?」とか、「必要なのだろうか?」とか、そういう形にするということですね。

はい、2分終了いたしました。

(F) そうしたら、例のごとくファシリテーターから出したいと思います。

まず、先ほどのまとめで出たのですけれども、議論の前提が違うことを理解するということから、専門家からは何を分かってもらいたいのか、市民の方からはこういうことが知りたい、というのを具体的に出してみたらいいのかなと。そういうたたき台をワットとやれば、それに関する説明を最初にして、その上で議論ができるから、前提条件が揃えられるのかなと思いました。

あとは、他分野の事例に学ぶべきことがある、ということですが、医者の場合は患者と対面で接する機会がある、つまり、説明するタイミングがあるのですけれども、原子力の場合、どのタイミングで説明したらいいのかなと。うまいやり方はないのかなと。あまり大きくなると、先ほどイデオロギーの話がありましたけれども、なかなかまとまら

ないので、どうしたらいいだろうかということをお聞きしたいなと思いました。以上です。

—— 20年前は、専門家の意見に市民はほぼ100%納得で、「その通り」だったのですけれども、これはちょっと怒られてしまうかもしれないけれども、今はプレゼンテーションの能力がちょっと低いのではないかと。

(F) ああ、専門家側の。

—— もっと上げてほしいと思います。

—— 私もそう思います。

—— あと、メディアの方向付け。これは連動しているのですよ。プレゼンテーションの能力が低いから、なんかよく分からない人が出てきていろいろ説明しても、市民は全然分からない。それをメディアがあおって、扇動する。やはり、ここ20年間怠けていたのではないかと。改善努力をして、アップしてほしいということです。

(F) 分かりました。ありがとうございます。

—— これは別に原子力に限った話ではないのですけれどもね。

(F) 専門家の説明能力を上げてほしいということですね。

次の方、お願いします。

—— 実は、今世論調査をやると、世間の7、8割の人が原子力をやらないと言います。本当にそうなのか、それでいいのかということ。

(F) それを議論すべきであると。

—— あと、先ほどと同じです。議論の仕方ですね。

(F) [原子力の賛成、反対の議論の仕方]と書いてありますから、意見がある人が、どういうふうに議論をしていくかということ、やり方をどうするかですね。

—— もうテーマ的ですね。

(F) では、次の方。

— はい。議論の前提が違うことを理解するという結果が出たので、スタート地点を決められるのか。

— 私は、話し合うときに気をつけるべきことは何か。「議論の仕方」と一緒ですね。これはもうおっしゃる通りだと思います。

(F) そちらの方、お願いします。

— はい。どんな情報を市民に伝える必要があるのか。

(F) ああ、私の案に近いのかな。知りたいこと、伝えたいこと、それから、伝えるべきこと、ということですね。

— はい。

事実が違うとは何なのか。

(F) ああ、先ほど（他の班の方が）事実が違うとおっしゃっていましたね。あれもよく分からないけど。

— 知りたいこと、ということですね。

— 専門家は、「事実が違っている」と盛んに言いますよね。

(F) 「事実」ってなんでしょうね？

— ええ、そこなのですよね。

(F) それから、「原子力の必要性」ですか（出された付箋に対して）。素晴らしい。

— それから、使用済み核燃料の処分をどうするのか。

(サブ F) 皆さんが貼りながらグルーピングをさせていただいたので、もう分かれていますね。

(F) ファシリテーターが何もせずに、もうできている。素晴らしい。

(笑)

—— 話し合うときに何に気をつけるか。これはもうメインテーマですよ。じゃあそれをどうすればいいのか、いつやるかということ。

(F) いつやるか、どういう…。

—— 決められるのか。

—— タイムスケジュールとか。

(F) タイムスケジュールもそうですし、そもそもそういう議論ができるのか、ということでしょう。

(総合 F) あと 3、4 分で決めていただければと思います。

—— で、ここのグループは、知りたいこと。どんな情報を知りたいか。せっかくなので、グループ名はこれにしましょうか (付箋をペンで囲む)。で、(似たような意見として) これがあると。

あと、ここは「課題」かな。

(F) 「課題」ですね。これはちょっと、

—— ちょっと独立していますね。

(F) 「専門家の課題」でしょうか。

—— この後はどうするのですか？

(サブ F) この中から 2 つに決めてもらわないといけないのです。そして、この紙に書いていただくことになります。

—— このグループは、「議論したいこと」ですよ。

(サブ F) では、2つ選んでください。

—— どれにしますか？

(F) 話しやすそうなテーマがいいですね。「必要性」というと、結構テンプレがあるようなイメージがします。テンプレというか、ある程度話が、あ、そうか、専門家はそう思っているけど、市民はそう思っていないかもしれない。

—— いや、そうではなくて、やはり「必要性」は専門家の中でも意見が分かれる話ですので、テーマとしては非常にいいものなのですが、ちょっと難しいですね。

—— 非常に話が広いのですよね。

—— 一応出してみますか？

(サブ F) 市民の方はどう思いますか？

—— 「必要性」は私が書いたテーマ案です (笑)。

(F) 私としては、どういうことが知りたいかを知りたいので、ご意見を伺いたいと思います。どういう議論がしたいのか。

—— 今、国から出ているのは、30年後、50年後、100年後はどうかということとの関係で、原子力が必要なのかどうかという話ですけれども。

(F) では、ここ(必要性)ですね。

そちらの方はどうですか？

—— 実は今原子力の勉強をしているので、体内被ばくだ、体外被ばくだという問題は、実験とかをしているので、ある程度基礎知識はあるという自負はあるのですね。なので、どちらかというところ、ニュースとかを見ると、風評被害ってあるじゃないですか。ええと、

(サブ F) この中で言えばどれですか？

(F) 「専門家の課題」なのか。何を知りたいか、議論のときにどういうことを伝えたらいいのか。議論をするときにどういうことに気をつけたらいいのか、どういうやり方がいいのか。

いのか。

—— これですね。

(F) 「どんな情報を市民に伝えるのか」が知りたいと。そちらの方はどうですか？

—— 今のも私が書いたテーマ案です。

(笑)

(F) そうすると、(今選ばれた2つを)両方とも書いたわけですか。

(総合 F) それでは、2つのテーマに絞って書いていただけますか。

(F) では、恐縮ですけれども、これとこれでいいですか？

—— あ、もう書き始めてしまいました。

—— あ、「どんな情報を市民に伝えるのか」はいいと思います。もうひとつは…。

(F) 議論が盛り上がりそうなのはこちら(必要性)なのですよ。いろいろな知恵が出そうなのはこちら(話し合うときの注意点)。私は、こちらをしたいのですけどね。

—— 個人的には、これをすごくやりたいですね。

—— 今、専門家の中では、ぶっちゃけた話、「必要」「必要ではない」というのはどのくらいのパーセンテージなのですか？ フィフティフィフティ？

—— 私は原子力発電の専門家ではないから分からないのだけれども、原子力をやっている人間は、私の感想では、かなりの割合、8割か9割の人が必要だと思っています。

—— ちなみに、それについては、

(サブ F) テーマを2つ決めてから議論してください。

—— 元々、原子カムラがどうしてできたのかというと、これ(必要性)なのですよ。

要するに、「原子カムラの方は、原子力の必要性を一生懸命言っている。でも、あの人たちの言っていることは分からない」というのが、そもそも言われていたことなのです。

ところが、「何を言っているのかが分からない」というときには、これ（話し合うときの注意点）が出てくる。

だから、どちらも必要なのですけど。

(F) では、皆さん、目をつぶっていただいて、挙手でお願いします。

—— その方法でいきますか？

(F) もうファシリテーターの権限を乱用します。

(総合 F) それでは、テーマ案を書いて出してください。お願いします。

(F) 「話し合うときの注意点」が議論したいという人は手を挙げてください。
「原子力発電の必要性」の方。

(サブ F) 3対2です。

(F) では、必要性のほうということでお願いします。

—— 「原子力発電の必要性」でいいですか？

(F) はい。

(案を記入)

(F) いい案がたくさん出ると決まらないので、最後は挙手かじゃんけんですよ。

(サブ F) ありがとうございます。

<グループワーク 3 終了>